

舞鶴市 地域危険度マップ

地震ハザードマップ

耐震化の重要性

阪神・淡路大震災では、直接被害者の約9割の人の死因が建物や家具の倒壊による窒息死・圧死でした。なかでも昭和56年以前に建てられた古い建物は、倒壊するおそれが高いことが分かっています。地震対策で、自分の家の耐震性を知り、倒れない家にするには重要です。

舞鶴市では、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、「災害に強い安全で快適な住宅・住環境づくり」を推進するため、その費用の一部を助成しています。

	耐震診断士派遣	耐震改修費助成	簡易耐震改修費助成
対象住宅	市内にある、昭和56年5月31日以前に建設された木造住宅	市内に本社・本店を有する事業者と契約を交わして行う木造住宅の簡易耐震改修工事等で、耐震性を向上させるもの。	市内に本社・本店を有する事業者と契約を交わして行う木造住宅の簡易耐震改修工事等で、耐震性を向上させるもの。
対象者	住宅の所有者又は居住者	住宅の所有者又は居住者、市税を滞納していない人	住宅の所有者又は居住者、市税を滞納していない人
内容	市から耐震診断士を派遣し、耐震診断を行います。	建築士による耐震診断の結果、評点が1.0未満と診断された木造住宅に対して行う耐震改修工事等で、評点を原則1.0以上に向上させるもの。 ※申し込み前に耐震改修工事を着工している場合は、助成対象外です。	市内に本社・本店を有する事業者と契約を交わして行う木造住宅の簡易耐震改修工事等で、耐震性を向上させるもの。 ※申し込み前に簡易耐震改修工事を着工している場合は、助成対象外です。
助成内容	【自己負担】 1戸につき3,000円	【助成額】 耐震改修費用の4分の3の額(限度額90万円)	【助成額】 簡易耐震改修費用の4分の3の額(限度額30万円)

※上記以外にも募集する戸数や対象となる要件があります。詳しくは、舞鶴市役所 建設部 建築住宅課 0773-66-1050(直通)までお問い合わせください。

避難時の留意点

- 火の元の確認**
避難する前にもう一度、火の元の確認をしましょう。
- 安全な服装**
長袖、長ズボンなどの安全な服装を着用し、建物のそばを避けましょう。
- 安否情報を知らせる**
玄関などに、避難先や安否情報を記したメモを貼っておきましょう。
- 階段から避難**
避難時はエレベーターを利用せず階段から避難しましょう。
- 足元に注意**
ブロック塀、ガラス、切れた電線等に注意しましょう。

凡例

- 建物全壊率
 - 30%以上
 - 20%～30%未満
 - 10%～20%未満
 - 5%～10%未満
 - 5%未満
- 地震避難広場
- 広域避難所
- 津波避難所
- 高速道路
- 国道
- J R
- KTR

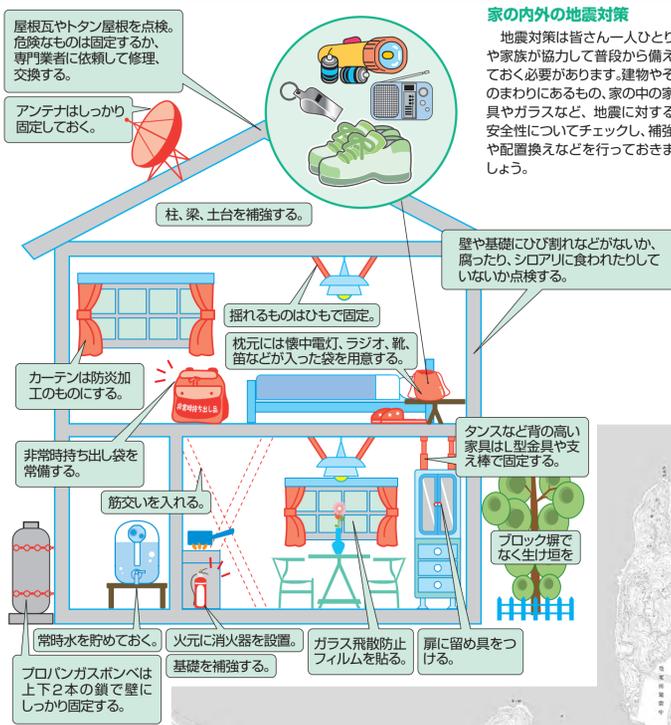
非常持ち出し品

非常持ち出し品をリュックサック等に入れて、事前に準備しておきましょう。非常食などの備蓄品は、家族が3日間程度過ごすために必要な量が目安です。



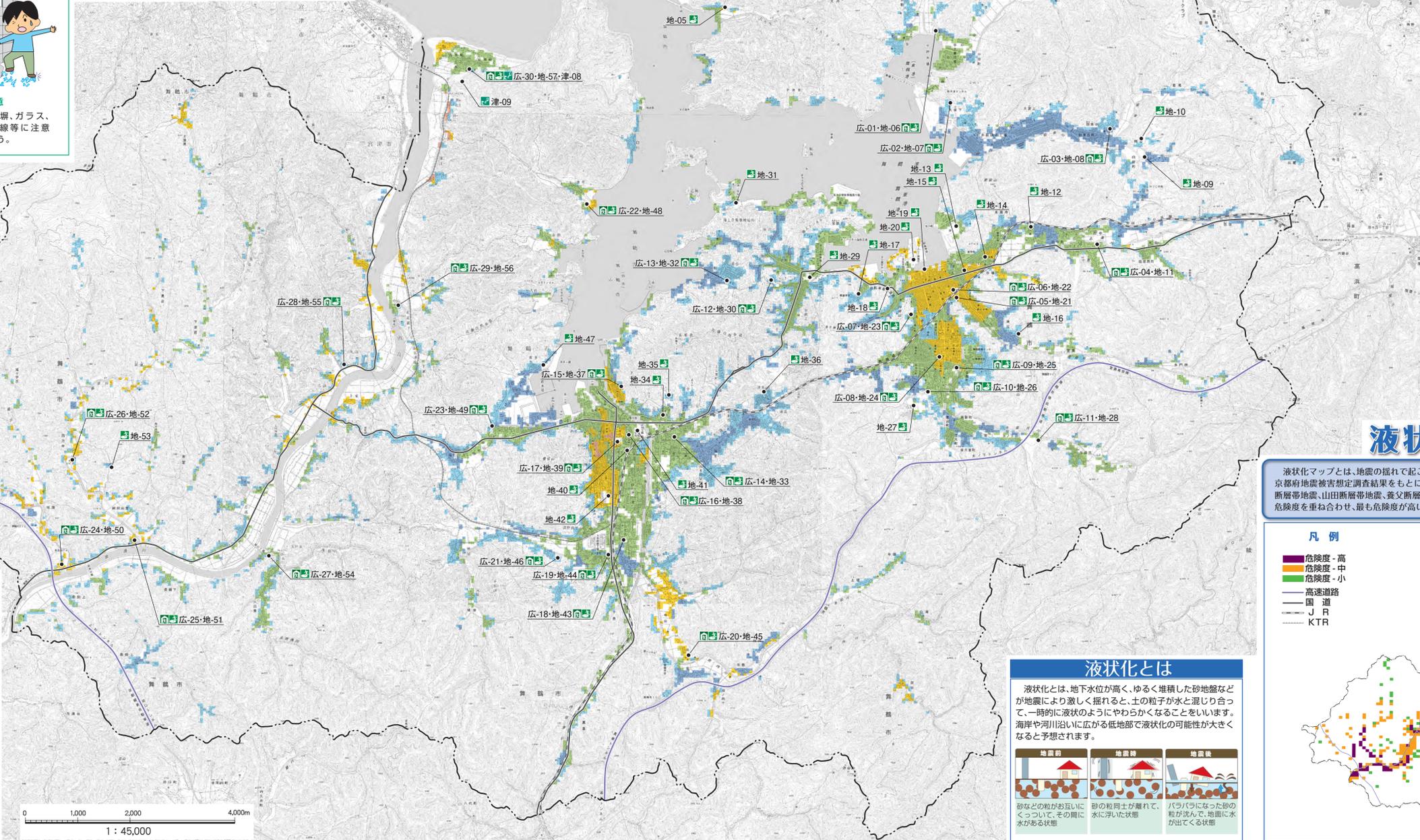
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号平24情複、第670号)

わが家の備えを再点検しましょう



地域危険度マップとは

地域危険度マップとは、地震によって発生する建物被害の分布を表したものです。具体的には、「揺れやすさマップ」で示した強さの揺れが起こった場合の、建物被害の程度(建物全壊率)を表しています。建物全壊率は、1辺約50mのメッシュ単位の地域に建っている建物の中で何%の建物が全壊するかを示しています。建物全壊率の数値が大きくなるほど建物を受ける被害が大きくなります。



津波避難所

地域	No	名称
津-01	田井コミュニティセンターグラウンド	
津-02	海蔵寺	
津-03	成生集落北東畑地	
津-04	野原小学校グラウンド	
津-05	小橋浄水場	
津-06	海蔵寺	
津-07	正徳寺	
津-08	旧神崎小学校 校舎3F	
津-09	天上川砂防堰堤	

広域避難所

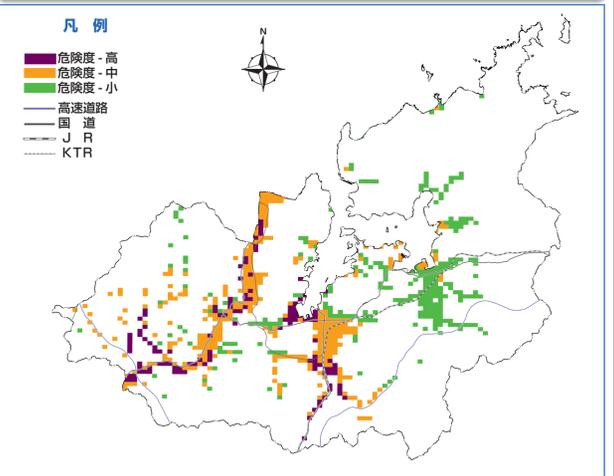
地域	No	名称	地域	No	名称
広-01	大浦小学校	広-16	城北中学校		
広-02	若浦中学校	広-17	明倫小学校		
広-03	朝来小学校	広-18	中筋小学校		
広-04	志楽小学校	広-19	城南小学校		
広-05	新舞鶴小学校	広-20	池内小学校		
広-06	白糸中学校	広-21	高野小学校		
広-07	三笠小学校	広-22	旧青井小学校		
広-08	倉梯小学校	広-23	福井小学校		
広-09	青葉中学校	広-24	旧岡田小学校		
広-10	倉梯第二小学校	広-25	加佐中学校		
広-11	与保呂小学校	広-26	旧岡田小学校		
広-12	中舞鶴小学校	広-27	岡田小学校		
広-13	和田中学校	広-28	由良川小学校		
広-14	余内小学校	広-29	旧由良川中学校		
広-15	吉原小学校	広-30	旧神崎小学校		

地震避難広場

地域	No	名称
地-01	田井コミュニティセンターグラウンド	
地-02	野原小学校グラウンド	
地-03	原小学校グラウンド	
地-04	丸山小学校グラウンド	
地-05	大丹生コミュニティセンターグラウンド	
地-06	大浦小学校グラウンド	
地-07	若浦中学校グラウンド	
地-08	朝来小学校グラウンド	
地-09	舞鶴工業高等学校グラウンド	
地-10	青葉山ろく公園	
地-11	志楽小学校グラウンド	
地-12	東舞鶴高等学校グラウンド	
地-13	海上自衛隊舞鶴教育隊第3グラウンド	
地-14	電宮公園	
地-15	松島公園	
地-16	貴船公園	
地-17	三宅公園	
地-18	北吸公園	
地-19	しおじプラザ	
地-20	前島みなと公園	
地-21	新舞鶴小学校グラウンド	
地-22	白糸中学校グラウンド	
地-23	三笠小学校グラウンド	
地-24	倉梯小学校グラウンド	
地-25	青葉中学校グラウンド	
地-26	倉梯第二小学校グラウンド	
地-27	東舞鶴公園	
地-28	与保呂小学校グラウンド	
地-29	海上自衛隊グラウンド	
地-30	中舞鶴小学校グラウンド	
地-31	海上保安学校グラウンド	
地-32	和田中学校グラウンド	
地-33	余内小学校グラウンド	
地-34	日星高等学校グラウンド	
地-35	舞鶴文化公園	
地-36	清美が丘公園	
地-37	吉原小学校グラウンド	
地-38	城北中学校グラウンド	
地-39	明倫小学校グラウンド	
地-40	舞鶴公園	
地-41	西運動広場	
地-42	西舞鶴高等学校グラウンド	
地-43	中筋小学校グラウンド	
地-44	城南中学校グラウンド	
地-45	池内小学校グラウンド	
地-46	高野小学校グラウンド	
地-47	喜多緩衝緑地	
地-48	旧青井小学校グラウンド	
地-49	福井小学校グラウンド	
地-50	旧岡田上小学校グラウンド	
地-51	加佐中学校グラウンド	
地-52	旧岡田中小学校グラウンド	
地-53	加佐運動場	
地-54	岡田小学校グラウンド	
地-55	由良川小学校グラウンド	
地-56	旧由良川中学校グラウンド	
地-57	旧神崎小学校グラウンド	

液状化マップ

液状化マップとは、地震の揺れで起こる液状化の可能性が高いと想定される地域を表したものです。京都府地震被害想定調査結果をもとに、1辺約250mのメッシュ単位の地域で、上林川断層地震、郷村断層帯地震、山田断層帯地震、義父断層帯地震、三軒断層帯地震、若狭湾内断層帯地震の6つの地震時の液状化危険度を重ね合わせ、最も危険度が高いものを表示しています。



液状化とは

液状化とは、地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが地震により激しく揺れると、土の粒子が水と混じり合って、一時的に液状のようにやわらかくなることをいいます。海岸や河川沿いに広がる低地帯で液状化の可能性が大きくなると予想されます。

地震前

砂などの粒がお互いにくっついて、その間に水がある状態

地震時

砂の粒同士が離れて、水に浮いた状態

地震後

バラバラになった砂の粒が洗われて、地面に水が出てくる状態